

## ゲノム創薬基盤推進研究事業：平成30年度実施機関一覧

領域	研究開発課題名	所属機関名	研究開発代表者	開始年度	終了年度
ゲノム創薬及びその推進に係る課題解決に関する研究					
	チオプリン不耐例を判別するNUDT15 R139C 遺伝子多型検査キットの開発を軸とした炎症性腸疾患におけるゲノム医療実用化フレームワークの確立	東北大学	角田 洋一	H28	H30
	HER2陽性乳癌に対する手術省略を目指したバイオマーカー開発研究	国立がん研究センター	向井 博文	H28	H30
	スプライシング操作化合物を対象としたファーマコゲノミクス解析に基づく 遺伝性難病治療薬の開発研究	京都大学	萩原 正敏	H28	H30
A ゲノム創薬研究の推進に係る課題解決に関する研究					
A1	バイオバンク及びゲノム医療に係る検査の品質・精度の国際的基準構築と実施、及びバイオバンクの連携体制構築に関する研究	国立精神・神経医療研究センター	増井 徹	H29	H31
A2	医療現場でのゲノム情報の適切な開示のための体制整備に関する研究	京都大学	小杉 眞司	H29	H31
A3	ゲノム医療従事者の育成プログラム開発	岡山大学	豊岡 伸一	H29	H31
B ゲノム情報を活用した新規創薬ターゲットの探索等の基盤整備に関する研究					
B1	核酸医薬創薬に資する霊長類RNAデータベースの構築	理化学研究所	河合 純	H29	H31

# ゲノム創薬基盤推進研究事業：平成30年度研究開発課題のタイムライン

領域	分野	代表者	H28	H29	H30	H31 (R1)
	ファーマコゲノミクス実施に向けた診断キット等の研究開発	角田 洋一	チオプリン不耐例を判別するNUDT15 R139C遺伝子多型検査キットの開発を軸とした炎症性腸疾患におけるゲノム医療実用化フレームワークの確立			
		向井 博文	HER2陽性乳癌に対する手術省略を目指したバイオマーカー開発研究			
	診断法・治療法等の研究開発	萩原 正敏	スプライシング操作化合物を対象としたファーマコゲノミクス解析に基づく 遺伝性難病治療薬の開発研究			
<b>A1</b> 検査品質・精度確保課題	バイオバンクの連携体制とゲノム医療に係る検査の品質・精度を確保する国際的基準を構築する課題	増井 徹	バイオバンク及びゲノム医療に係る検査の品質・精度の国際的基準構築と実施、及びバイオバンクの連携体制構築に関する研究			
<b>A2</b> ゲノム情報患者還元課題	患者やその家族等に対して必要とされる説明事項や留意事項を明確化する課題	小杉 眞司	医療現場でのゲノム情報の適切な開示のための体制整備に関する研究			
<b>A3</b> 人材育成課題	ゲノム医療従事者の養成を推進する課題	豊岡 伸一	ゲノム医療従事者の育成プログラム開発			
<b>B1</b> サル及びヒトのPre-mRNA及びmRNAのデータベース構築	創薬探索基盤整備課題	河合 純	核酸医薬創薬に資する霊長類RNAデータベースの構築			